



こすもスマイル



発行／小林市立病院
地域医療連携室

35号

平成31年 1月 7日発行

～事業管理者のあいさつ～



新年明けましておめでとうございます。平成最後の年始に際し、小林市立病院を代表いたしましてごあいさつ申し上げます。

いよいよこの1月より当院での分娩対応が再開されました。宮崎大学医学部産婦人科学教室、県立宮崎病院産婦人科、西諸医師会および関係諸機関の多大なご尽力によりそのスタート台に立つことができました。ご承知のように、産科医療は我々の将来を担う新しい「いのち」の誕生を対象としていますが、全国的に不足する産婦人科医師の献身的な診療姿勢で支えられています。近年少ないスタッフで対応可能な診療体制構築が必要とされ、いわゆる集約化が進んできましたが、今後分娩施設がない医療圏が増加するのではと危惧されています。

幸い、当地域は昨年7月に着任した当院産婦人科科長吉永の英断と前述の多くの機関のご協力で分娩再開となりましたが、一人体制のためすべての妊婦さんへの対応は現実的に不可能です。ハイリスク症例は高次病院へお願いし、分娩数を制限してその診療体制を確保せざるを得ません。今後は周辺高次医療機関とのさらなる綿密な連携を構築し、住民の皆様のご期待に沿えるようスタッフとともに努力して参ります。

一方、行政主導による在宅医療へのシフトを柱とした「地域包括ケアシステム」の整備が進められていますが、当院の責務は、急性期病棟を堅持しつつ更に在宅医療へのシームレスな移行、いわゆる回復期機能の拡充へ変遷し、周辺医療機関に加え介護施設とのより綿密な連携を求められています。現状の救急および入院医療に加えて外来部門の機能拡充のため、長年の課題である内科診療の再開のためそのスタッフ確保がより急務となりました。

さて、昨年10月より宮崎大学医学部医学科5年生の地域医療研修がはじまり4週間にわたり当地に滞在します。また昨年は宮崎大学研修医も計6名当院で研修しました。地域の基幹病院として相応の充実した研修提供を目指し、さらなる宮崎大学病院との連携強化が、当地域で一緒に働いてくれる医師の「獲得」へ繋がることを期待しています。

本年も引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。

事業管理者 坪内 斉志



理 念

「安心、安全で信頼される病院を目指します」

【基本方針】

- ◎ 西諸の中核病院として、地域の医療機関と連携し、高度な医療を提供します
- ◎ 職員一丸となって、迅速な対応とチーム医療で、安全な医療を提供します
- ◎ 誠実かつ真摯(しんし)な姿勢で日々研鑽(けんさん)に努め、信頼される質の高い医療を提供します
- ◎ 自治体病院として、平等で心が通い合い、安心できる快適な療養環境を提供します
- ◎ 患者様と家族の満足を追求し、プライバシーの保護をはじめ 患者様の権利を尊重します

診療部紹介

今回は、

糖尿病・内分泌内科です。



初めまして。鹿児島大学糖尿病・内分泌内科から参りました、伊集院 太生と申します。現在は鹿児島厚生連病院に勤務しております。今年度から2週間に1回、奇数週の水曜日に当院で診療させていただくこととなりました。糖尿病専門医で、糖尿病・内分泌疾患を担当しております。

近隣の生駒高原、えびの高原のスケートリンクには何度か足を運んだことがありますが、宮崎県で勤務するのは初めてです。徐々に馴れて、地域の患者様の医療に貢献できれば幸いです。さて当科では糖尿病・脂質異常症・肥満などの代謝・栄養疾患、下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎などの内分泌疾患の診断と治療を行っています。特に糖尿病については地域柄超高齢者や独居の患者様が多く、多剤内服にて血糖コントロールに難渋する方や合併症が並存している方が多いと思われま

す。近隣の医療機関の皆様におかれましては、診断や治療などでお困りの際や糖尿病・内分泌疾患に関するご相談がございましたら、是非とも当科にご紹介いただけたらと思います。よろしくお願い申し上げます。

糖尿病・内分泌内科 伊集院 太生



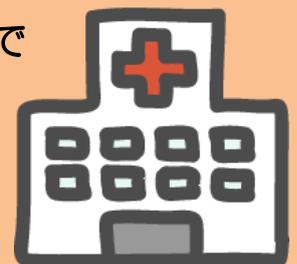
診療日 毎月第1・3・5 水曜日

診療時間 午前8:30~17:00

完全予約制となっておりますので、受診の際は下記までご連絡下さい。

なお、受診時に紹介状が必要となります。

TEL 0984-23-8225



事務部紹介

今回は、

診療情報管理室

です。

当院は、平成28年4月からDPC準備病院として2年間の調査期間をクリアして、平成30年4月から西諸医療圏初のDPC対象病院となりました。

DPCとはDiagnosis（診断）Procedure（処置）Combination（組み合わせ）の略で、3つの要素からなる診断群分類のことで、これまでは投薬、注射、検査等毎に計算する出来高算定方式でしたが、DPCでは病名や診療内容に応じた1日あたりの定額を日数に応じて計算し、出来高部分をプラスして計算をおこないます。

DPCは、医療費の適正化と医療の質の向上に資するものとして採用された制度です。また、どこの病院でも同じ医療サービスを受けられるように医療の標準化に努めるよう、各医療機関の調査データがDPCの点数に反映されています。

調査データは事務部の診療情報管理室で作成し、厚生労働省に提出しています。診療情報管理室には4名配属されており、それぞれ分担して各項目のデータの収集・作成・分析をおこなっています。

診療情報管理室の重要な役割はデータの分析です。患者さんの入院から退院までのデータを使用して、院内データの分析や他の医療機関との比較・分析をおこないます。

他医療機関の提供する医療サービスと比較することにより、当院の提供する医療サービスを精査し、医療の標準化・効率化（クリニカルパスの整備）を図ることができます。また患者さんにとっては標準的な医療を安心して受けられるようになります。

診療情報管理士として、医師・看護師・コメディカル等の各部門をサポートすることで、間接的に医療サービスに貢献できると考えます。DPC対象病院となって1年足らずであり、まだまだ改善すべきところはありますが、適正な病院運営ができるよう日々努めていきます。

診療情報管理室 川越 真由美



第31回症例検討会を開催しました！



2017年度 救急看護認定看護師活動報告

小林市立病院 看護部 外来 副看護師長
救急看護認定看護師 福永 幸枝



手指衛生の習慣化に向けた取り組み ～行動科学理論に基づいて～

小林市立病院 5階病棟 看護師 四位 浩子



座長：徳田 浩喜病院長



脳血管疾患による嚥下障害に対して、 干渉電流型低周波治療器を使用した症例

小林市立病院 言語聴覚士 湯浅 克彦



両側精巣固定術を行った一例

小林市立病院 泌尿器科
医長 川越 真理



急性期頸動脈塞栓症に対し、血栓回収療法 を行った一例

医療法人 三和会 池田病院
病院長 池田 徳郎先生



ディスカッションの様子



次回は2月4日(月)を予定
しております。

ご多忙な時期ではあると
思いますが、ご参加よろし
くお願い致します。

第31回症例検討会を無事に開催することができました。今回は池田徳郎先生の症例もあり大変充実した検討会になりました。2018年7月より血栓回収療法が可能となり、さらに西諸でも救える命が増えたことに感動致しました。

クリスマスコンサート



毎年恒例のクリスマスコンサートの様子です。
今回の演出は、もみのき保育園 園児より
「ミッキーマウスのマーチ」などのお遊戯と、
小林看護医療専門学校によるハンドベルとダンス、
Jam楽団による演奏と盛りだくさんでした。



入院患者さんにも参加していただきました。
笑顔や拍手が見受けられ、入院生活に少しでも
花が添えられたのではないのでしょうか。

当日、事務職員と共に小林高校の学生さん、
地域医療を考える会の方々にもお手伝いいた
だきました。ご協力に感謝いたします。
ありがとうございました。



今回のお花

小林華道連盟より
毎週すばらしいお花をいただいております。



1月 行事食
お正月

2019 あけまして
おめでとうございます

○おせち料理

おせち料理は、お正月に食べるお祝いの料理で、漢字では「御節料理（おせちりょうり）」と書きます。

元旦や五節句などの節日を祝うため、神様にお供えし、食べたものを「御節供（おせちく）」と呼んでいたそうです。おせち料理は本来、お正月だけのものではありませんでしたが、江戸時代にこの行事が庶民に広まると、一年の節日で一番大切なお正月にふるまわれる料理が「おせち料理」と呼ばれるようになったそうです。

もともとは収穫物の報告や感謝の意を含め、その土地でとれたものをお供えしていたようですが、暮らしや食文化が豊かになるに従い山海の幸を盛り込んだ御馳走となり、現在のお節の原型ができたそうです。

また正月三が日は主婦を家事から解放するという意味を含め、保存の効く食材が中心のものになったといわれています。



スタッフよりひとこと

明けましておめでとうございます！
新年がスタートしました。「平成」も残り5ヶ月。元号が変わりますね！

私ごとですが、映画、読書が大好きです。

仕事はもちろんプライベートも、今年こそは目標をたて有意義に過ごしたいと思います。

まだまだこれから冬本番。体調管理にはお気をつけ下さい。

今年もよろしくお願い致します。

医師事務作業補助者 石橋 加奈枝